

赤井龍男先生、真鍋逸平先生の退官によせて

赤井龍男先生、真鍋逸平先生には、平成3年3月31日付をもって定年退官されることになりました。

赤井先生は、昭和41年10月信州大学農学部から本学演習林にご赴任以来、20有余年森林の再生に関する該博な知識と豊富な経験によって、ヒノキの更新に関する研究に従事されるのはもちろん、講義、ゼミを通じて林学教育に精励されたほか、白浜試験地・本部試験地及び上賀茂試験地主任ならびに北海道演習林林長として、その試験研究、業務に多大のご尽力をされて参りました。

真鍋先生は、昭和23年3月本学演習林にご就任以来、40有余年にわたって一貫して広葉樹の更新と育成の研究に従事されて参りました。この間16年の長きに及ぶ北海道演習林勤務のさいには外国産樹種の導入に尽くされ、また、昭和57年からは本部試験地主任としての業務に加えて、豊かな知識を生かした苗畑実習を通じて学生の教育に携わって来られました。

今回、両先生のご退官にあたり、それぞれのご専門を生かした「合自然的な森林造成の技術体系ーヒノキの天然更新法を中心にー」、ならびに「京都大学構内植生調査Ⅰ、Ⅱ」、「ヨーロッパアカマツ造林不成績地に天然更新した落葉広葉樹について」の論文を恒例にならって演習林集報特別記念号として発刊し、あわせて両先生のご功績に心からなる感謝の意を表わすものであります。

平成3年1月

京都大学農学部附属演習林長

和田茂彦